

事業番号	232
------	-----

平成25年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名	県管理道路植栽管理委託事業						担当部	都市建設部		
	会計区分	一般会計			事業類型	一般		担当課	道路課		
	事業期間	平成19年度			～	平成30年度以降		担当係	維持係		
	総合計画 分野別計画	主目的	5 都市基盤		23 道路		1 道路整備を進める				
		副目的									
	予算区分	款	8	項	2	目	2	大	2	中	3
	根拠法令・個別計画	小牧市内の県道管理に関する覚書、小牧市内県道管理の道路の植栽管理及び除草に関する協定									
	目的 (対象をどのような状態にするのか)	市内の中心部の県道の植栽について、市道の管理基準に準じた除草等を行い、安全で景観のよい道路とする。									
	内容 (手段)	<p>◆24年度実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県基準の植栽管理に加え、除草回数を県基準の年2回から、2回増やし年4回実施する植栽管理委託を行った。 ・職員は、委託、積算及び施工管理を行う。 <p>◆24年度直接経費の内訳</p> <p>【委託業務内容】 (委託料: 18,973千円)</p> <ul style="list-style-type: none"> 国道155号 2,300m 春日井一宮線 900m 名古屋外環状線 1,600m 名古屋犬山線 1,500m 小牧春日井線 1,000m <p>5路線合計 7,300mの除草を4回、剪定を5路線実施した。</p> <p>◆25年度直接経費の内訳</p> <p>【委託業務内容】 (委託料: 19,500千円)</p> <ul style="list-style-type: none"> 国道155号 2,300m 春日井一宮線 900m 名古屋外環状線 1,600m 名古屋犬山線 1,500m 小牧春日井線 1,000m <p>5路線合計 7,300mの除草を4回、剪定を5路線実施する。</p>									
	受益者負担	無									

		単位	H22決算額	H23決算額	H24決算額	H25予算額		
コスト	費用	直接経費	千円	23,654	20,460	18,973	19,500	
		正職員	従事者数	人	0.10	0.10	0.10	0.10
			人件費	千円	533	533	533	533
		その他職員	従事者数	人	0.00	0.00	0.00	0.00
			人件費	千円	0	0	0	0
	費用合計	千円	24,187	20,993	19,506	20,033		
	対前年比	%		86.7	92.9	102.7		
財源	一般財源	千円	9,478	7,347	6,083	5,633		
	国・県支出金	千円	14,709	13,646	13,423	14,400		
	その他財源	千円	0	0	0	0		

業 績	活動指標名		単位	H22	H23	H24	H25
	年間除草回数	回	目標	6	6	4	4
			実績	6	5	4	
			目標				
			実績				
			目標				
			実績				
	成果指標名		単位	H22	H23	H24	H25
	年間除草回数	回	目標	6	6	4	4
			実績	6	5	4	
		目標					
		実績					

事業の自己評価	平成24年度の実施結果	事業の達成状況	小牧山中心とした市内の中心部の県道の植栽について、市道の主要幹線道路の管理基準に近い年4回除草等を実施することにより、住民からの改善要望を受けることがなくなり、安全で景観のよい道路を保たれている。(市道の主要幹線道路において、植栽管理の除草回数は年5回実施されている。)	
		事業実施における課題	平成23年度の外部評価の見直しを受けて、除草回数を年6回から平成23年度は年5回、平成24年度は年4回に削減したため、草の成長速度の速い繁茂期になると、除草が遅れる場合がある。(9月と12月の除草を削減した。)	
		事業を縮小・廃止したときの影響	県の管理状態に戻ることで、除草回数が年4回から年2回になることで安全で景観のよい道路の管理ができなくなり、市民のニーズに応えることが出来なくなると考える。	
	平成25年度の改善内容	25年度における事業の改善・見直し内容(新規追加事項、廃止・削減事項等)	小牧山中心とした市の中心部の事業であり、市民及び市外からの観光客が集まる地域のため、除草の時期を的確に行い、草の繁茂を防ぎ、安全で景観のよい道路管理を行う。	
平成26年度の事業の方向性	方向性の判定	維持	事業のボリュームを現状規模で維持すべきもの(対象や手段を見直す場合も含む)	
	判定理由	小牧山中心とした市の中心部の県道の植栽について、除草を年4回実施することにより、通行車両からのゴミ捨ても減ったと考えております。元の管理状態に戻すことは、ゴミのポイ捨ての増加が懸念されまた、交通安全上もマイナスとなることが考えられることから維持と判断した。(平成23年度の外部評価の結果、除草回数を年6回から4回としコスト削減を図った。)		
	26年度以降の改善案	市民ニーズを十分に把握し、事業内容の精査しながら着実に実施していく。		

二次評価	方向性の判定	判定理由
	維持	一次評価のとおり。外部評価を受けた改善が進められており維持とする。